



ファミリーサポートセンターでは、協力会員さんを対象に、情報交換・プチスキルアップなどの機会として毎月「定例会」を開催していますが、今年度は、コロナの影響でなかなか開催できずにいます。例年なら、1月は「新年交流会」と銘打って、少し改まって少しにぎやかに開催するところですが、今回は参加のみなさんに十分な体調チェックをお願いしたうえで、恒例の調理実習なし、試食なし、レクリエーションなしの近況報告会となりました。

写真は、参加のみなさんに少しでも新年の雰囲気を感じていただきたいと「かぎやで風・上り口説」の琉球舞踊を披露してくれた社協職員上原郁子さん、山城泰一郎さん、阿嘉宗治さん（三線演奏で見えにくい左奥ですが）。持ち寄り景品争奪戦で白熱のじゃんけんシーンの一コマ。みなさん、少しは交流不足を補う時間にしていただけたようです。

## ファミサポ会員のお約束

ファミリーサポートセンターは、地域の「子育ての手助けをしてほしい人」「子育ての手助けをしたい人」が支え合う相互援助活動の会員組織です。

- ・依頼会員さんは、お釣りの無いように活動報酬をご用意ください。※額が不明なときはセンターにお問い合わせください。
- ・住所や連絡先、お子さんの誕生など登録内容に変更が生じたときには、速やかにセンターにご連絡ください。※電話可
- ・お子さんの自宅への送り届けでは、必ず18歳以上のご家族がいてくださるようお願いいたします。

## ファミサポ Q&A

**Q.** 小学校入学前からずっと送迎でお世話になっている息子が、この春には中学生になります。引き続きサポートをお願いできませんか？

**A.** 当センターでは、サポートの対象は小学生までとさせていただきます。おそれいりますが、ご理解をお願いいたします。

**Q.** 幼児の送迎依頼です。親も同乗させていただけますか？

**A.** ファミリーサポートは子どもさんのサポートに特化した事業です。申し訳ありませんが、親御さんの同乗はご遠慮いただいております。

ファミサポ会員さんからの  
Q&Aをご紹介します！



### お願い

- ファミリーサポートセンターの定例会は、毎月第一金曜日午前に開催を予定していますが、今年度は新型コロナの影響で見合わせが続いています。参加をご希望の協力会員さんは、実施の有無や内容などセンターまでお問い合わせください。
- 新型コロナ対応で沖縄県の緊急事態が続いています(2021年2月4日現在)。直近で県外や海外渡航のある方は、サポート・サポート依頼を控えてくださるようお願いいたします。

【問合せ先】 社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会（那覇市ファミリー・サポート・センター）

tel.098-857-8991 fax.098-859-8388

# ふあみさぽひろば vol.8

令和3年3月

地域で子育て支援を行う「那覇市ファミリー・サポート・センター」の活動をご紹介します広報紙です

## サポートリクエストは外遊びでしたが...

依頼会員 渡口 絵美さん

次男由喜(よしき)くん(生後9か月)の育児休暇中のママ、渡口絵美さん。あまりかまってあげられない長男巧也(こうや)くん(もうすぐ4歳)が気がかりだと、「公園での外遊び」を数か月来のサポートリクエストにされていますが、依頼日に限って雨模様でずっと延期になっていました。残念でしたが、遊び場を児童館にしよう！と切り替えて、ママと小っちゃい兄弟が出かけたのが、12月初旬のとある日でした。片倉さんと相談して、ママが由喜くんと用を済ませる間、巧也くんは児童館で過ごしました。人見知りしないかしら・・・というママの心配をよそに、好奇心満々で、巧也君は片倉さんと楽しく過ごしたようですよ！

赤ちゃんや小さい子が大好きで、一緒にいるだけで癒されます。



協力会員 片倉 道代さん

やんちゃな男の子二人の子育てが一段落したら、ファミサポに登録したいと以前から思ってたんです。限られた時間ですが、近くで困っているママがいて、ちょっとでもお手伝いができるなら、こんな嬉しいことはないですね。と、頼れるサポーターさんです。片倉さん！今後ともよろしくお願いいたします！



▲この日は残念ながら雨で外遊びはできませんでしたが、児童館でいっぱい遊びました！

## 生後7か月ごろから始まって、かれこれ1年のお付き合い♪

依頼会員 荒井 薫美さん

荒井家の乃蒼(のあ)ちゃんと幸愛(ゆあ)ちゃんは現在1歳8か月の双子ちゃん。アンヨができて、好みも現れ始めて、どんな仕草も可愛いくて堪らないお年ごろの姉妹です。ファミサポとのお付き合いは、二人が生後7か月ごろから始まって、かれこれ1年が過ぎました。思えば二人の人生の大半がコロナ禍の日々。ママ薫美さんの日曜出勤や通園自粛を余儀なくされている時期などもあって、サポート依頼は続いています。

ところで・・・双子ちゃんをサポートというのは、サポーターさんも二人なんです。お約束の時間に二人のサポーターさんが荒井家に伺い、出勤するママとバトンタッチ。12月の少しだけヒンヤリとした風の吹く日でしたが、近所の公園に出かけて元気に外遊びを



▲外遊びの時間

▲絵本の時間



▲2月初旬那覇市社協そば。見頃の桜に誘われて荒井親子登場！

しました。この日は、高良久美子さんと嶺井和歌子さんがにこやかにサポートされていましたが、なにしろ二人ペアで入ることになりますから、荒井家に馴染みのサポーターさんは10人は下りません。みなさん、ママと双子ちゃんのためならエンヤコラ！ですね。これからも、よろしくお付き合いください！



協力会員 嶺井和歌子さんと幸愛ちゃん(左) 高良久美子さんと乃蒼ちゃん(右)

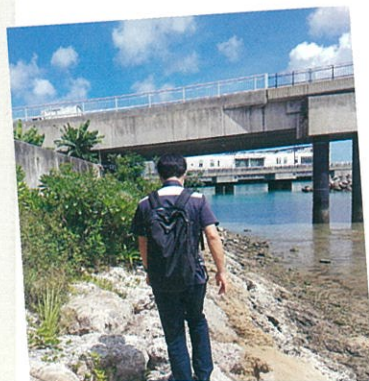


# 見守りや支え合い ネットワーク作りのお手伝い

CSW (コミュニティソーシャルワーカー) のご紹介!



CSW (コミュニティソーシャルワーカー) は、生活する上でちょっとした困り事や福祉課題を抱えている人の相談に応じて、問題解決に向かうためのお手伝いをする『個別支援』と、子どもから高齢者まで、みんなが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、見守りや支え合いのネットワーク作りを進める『地域支援』を行っています。



しっかりと話を聞き  
解決策を導き出す

## 個別支援 **やさしさが繋がった外国人支援**

『橋の下に、外国人のホームレスがいる。困っているみたいなので何か支援できないか。』そんな相談が社協と関わりのある生活支援サポーターよりCSW に入りました。早速、外国語ができる民生委員さんに協力を依頼し、一緒に現場へ！初めは警戒した様子の本人でしたが、話をする中で少しずつ心を開いて下さり、最後には『母国に帰りたい。』と涙を流されていました。それから沢山の方々のご協力が実を結び、先日無事帰国の途に就かれました。

“どうしたら、本人の望む方向へ進めるか…” そのために、CSW は制度にとられない様々なネットワークを駆使し、子どもから高齢者まで、本人の気持ちに寄り添いながら日々活動しています。これからも思いやりの心を持って邁進していきたいと思ひます。(CSW: 新垣)

## 地域支援 **あけぼのに『おもちゃドクター』登場!!**

令和2年7月18日(土)に曙小学校地域連携室で『あけぼのおもちゃ病院』が開院しました。この取り組みは『おもちゃドクター』の活動を知ったこどもの居場所『ほのぼのカフェ』代表の玉寄さんが「自分の地域でも開催してほしい」との強い要望もあり実現しました。

昨年度那覇社協で実施した『おもちゃドクター養成講座』の受講生4名も参加。子ども達が大事にしていたおもちゃを治療したり、道具で遊んだりしながら楽しく交流しました。『おもちゃ病院沖縄那覇』代表の宮里さんからは「子ども達に見てもらいながら、おもちゃ修理するのは理想の形。これが生きがいにつながる」、子ども達からは「動いた！すごい!」「こんな風にしたら直るんじゃない?」と中には修理に興味をもってアドバイスする子ども達もいました。(CSW: 神田)



おもちゃ修理に興味津々!



## 地域見守り隊と居場所(サロン)活動

地域では一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増え、那覇市でも、認知症高齢者の増加や孤立死の問題、高齢者や児童への虐待問題など、複雑かつ深刻な福祉課題が顕在化しております。

地域でお困りの方を早期に発見・対応できるよう、社協では、那覇市より『安心生活創造推進事業』を受託し、見守り活動を推進しております。自治会地域を対象に市内52か所で地域見守り隊が結成されています。普段の生活の中で互いが気かけ合い、異変を察知した際に、福祉関係機関へ繋いでいくことが、より地域で安心・安全の福祉のまちづくりになるのです。地域見守り隊結成を機に、住民同士の繋がりがより一層深まるよう、関係機関と連携し、この活動を広げていきたいと考えています。

### 地域見守り隊

泉崎1丁目自治会では、令和3年1月8日(金)地域見守り隊が結成されました。地域からは、高齢者の安否確認の必要性が出てきたことから、自治会役員や民生委員の他に、見守り活動に関心のある方が中心になって活動を進めていきます。地域見守り隊には、今後、高齢者でなく、障がいを持った方、子育て中の親子等見守り対象を広げていきたい。

CSW は、地域見守り隊の役割として、日々の生活から「みまもる」ちょっとした気づきで「みつめる」関係機関への連絡する「つなげる」が活動の基本となります。いきいきふれあいサロンのように集合型の見守り活動もお互いで安否確認することのできる助け合いの活動であり、現在、市内69か所で展開しています。

みんなで力を合わせ、頑張ります!



### いきいきふれあいサロン

いきいきふれあいサロンは、高齢者の居場所が多いが、中には、保育園が子育てサロンとして地域のニーズに応じて施設を開放し実施しているところもあります。那覇市安謝にあるみやび福祉会がふれあい・いきいきサロン みやび保育園「ケア・プラザみやび」を平成26年4月立ち上げてスタートしています。保育園の兼城照美園長は地域への社会貢献に関心を持ち、CSW がサロンとしての活動を支援していくための話し合いを重ねてきました。

CSW はこの地域は、元もとの県内出身者よりも県外等からの移住者による参加が多く、近隣に親族や知人が少なく孤立しがちな母親が、同じように子を持つ他の母親とコミュニケーションを図れる貴重な場となっていることに注目して、サロンの開設を園長先生に相談し実現しました。みやび保育園のような保育園が子育てサロンや子どもの居場所として活用されることにより子ども支援が広がることを期待したいと思います。



いつでもお気軽に  
ご相談・ご連絡ください!



那覇社協では幅広く福祉活動を展開し、様々な事業を行っています。ファミリーサポートセンター事業もそのひとつですが、相談や利用する方の中には、様々な生活課題を抱えた方もいます。そのためには横断的に連携し、解決していく仕組みが必要となっています。平成22年度よりCSW (コミュニティソーシャルワーカー) を配置し、複雑多様化しつつ地域の生活課題に対し、社協内や必要に応じて多職種との連携を図りながら取り組んでいるのです。